

事業計画書

事業名	移住者や移住予定者のための沼津暮らし応援プロジェクト!!
実施場所	沼津市大手町 4-5-12 うるわしビル 2F NUMAZU DESIGN CENTER 内
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

沼津に根づく校区単位の地域性(特徴・習慣・行事・文化・歴史・付き合い方)を、そこに住む魅力的で頼り甲斐のある人々に登場いただき紹介していく本(校区BOOK)を制作。そして、その本を活用することによって沼津に移り住んでまもない人が1日も早く地域に馴染み、安心して豊かな心で生活ができるようになるための”きっかけ”づくりをしていく。また、本(校区BOOK)に登場した人々や校区(地域)に住む人々と移り住んでまもない人々をつなげていく交流の場などをつくることも目指す。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

沼津に移り住んでまもない人に対しては不安を少しでも取り除き1日も早く地域に馴染んでもらうことを目指す。沼津に移り住もうと考えている人に対しては、沼津という街に興味や好意を持ってもらい、移住の決断の助けになることを目指す。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。
4月	編集会議、外部スタッフ選定(カメラマン、ライター、イラストレーター)
5月	編集会議、取材先(人・施設など)の選定とロケハンなど
6月	編集会議、インタビュー・取材や原稿作成、写真撮影など
7月	編集会議、インタビュー・取材や原稿作成、写真撮影など
8月	編集会議、インタビュー・取材や原稿作成、写真撮影など
9月	編集作業(原稿、写真、イラスト)と誌面作り(デザイン)、会議
10月	編集作業(原稿、写真、イラスト)と誌面作り(デザイン)、会議
11月	編集作業(原稿、写真、イラスト)と誌面作り(デザイン)、会議
12月	校正作業(初校だし~)、会議
1月	校正作業(~校了)と印刷、会議、設置場所選定・確認
2月	発行ならびに設置、移住者との交流企画会議
3月	移住者との交流企画会議
年間を通して	<ul style="list-style-type: none"> 制作活動のSNSやネットでの情報発信 個人、企業、自治会などからの協賛集め(本の制作部分)

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p> <p>この事業によって、沼津に移り住んでまもない方々が孤独感や寂しさから来る不安から解放されたり、校区（地域）に住む人々となつながらることにより、安心して豊かな心で生活できる助けとなる。また沼津に移り住むことを考えている人にとっては街に転入するきっかけの本となり、ひいては人口増加につながる。</p>			
<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>1000部制作・配布予定 内訳） ・県のアンテナショップなど／200冊 ・市内地区・交流センターなど／300冊 ・二中校区自治会／50冊 ・市の関係各課など／300冊 ・店舗など／150冊（販売）</p> <p>移住に関わるアンケート用 QR コードを本に掲載。</p>	<p>指標の 検証方法</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>設置場所からの聞き取りや 残数をカウント。 一部販売による売上をカウント。</p> <p>移住に関わるアンケート結果などを数値化。</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>移住して間もない人々にとっては拠り所となる。加えて、地域住民とのコミュニケーションのきっかけとなる。人と人がつながり、地域や街の”にぎわい”や”活性化”にもつながる。そして、市民にとっても校区別というユニークな切り口が、沼津の街の特徴として再認識される良い機会となる。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>移住して間もない人が校区（地域）に馴染めない、寂しさや孤独を感じるという問題がある。この本（校区 BOOK）を活用することによって、校区ごとの地域性や特徴を知り、住んでいる校区に慣れ親しみやすくなるきっかけとなり、交流を推し進められる。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>校区という地域区分ごとに特徴があり、人々にとっても校区に愛着があることが聞き取り調査などでわかった。本（校区 BOOK）に関して言えば、移住ガイドや街歩きマップのような広く浅くというのではなく、校区単位で、人がそこで生活するのに寄り添うことのできる切り口で誌面作りをしていく。そして、本（校区 BOOK）から始まる人と人のつながりの場をつくることもチャレンジングで工夫したところ。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>メンバーが住んでいる二中校区から事業をスタートするが沼津にあるすべての校区に順次事業を拡大していく。移り住んだ人や移り住もうと考えている人の拠り所になるのはもちろんのこと、地元住民や制作する側の人も校区という切り口で沼津のことをより深く知ることができる。事業継続をしていくために市の政策企画課と連携しながら、同課がフォロー出来ない部分を本事業で補っていく。また一部、本（校区 BOOK）を販売する試みは、購入ニーズを探りながら、今後、自立して事業を継続していくために必要な資金を確保していくための一歩となるものであり、徐々に販売数を増やしていく予定。</p>

<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>この企画を事業化するべく、2019年4月から、試行錯誤を重ねながらメンバーで幾度となく打ち合わせをしてきた。 市の政策企画課の方にも話を伺ったが、市として、移り住むまではフォローできてもその後のケアが難しい、とのことから、この事業はとて有効性があると思う。</p>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>沼津に移り住んで間もない方の「地域に馴染めない」「孤独」「寂しい」「不安」を数多く耳にしてきたので、この問題を沼津市民がもつ独特の校区に対する愛着と絡めて、そこに住む人々の言葉を本（校区BOOK）に綴りながら、移り住んだ方々の気持ちに寄り添い、その先の人と人をつなぐというところまでフォローし、応援していきたい!!</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>まずはメンバーが在住している「二中校区」から事業をスタートさせる。 今回の事業活動で実績と評価を得て、次年度以降は助成も活用しながらも、より自立して事業展開できるように、一部、本の販売についても販売部数を増やし、協賛も募りつつ、他の校区へも事業を順次拡大していく。 事業の中で制作していく本（校区BOOK）を人と人をつなぐコミュニケーションツールとして用いながら、利用した方々からのフィードバックなどいただき、事業継続していく中で、より良い形で寄り添えるようにしていきたい。</p>

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

<p>※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。</p>

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

<p>※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。</p>
